

令和6年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	81	学校名	静岡県立浜名高等学校 (定時制)	校長名	山崎 裕子
------	----	-----	---------------------	-----	-------

本年度の取り組み（重点項目はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	授業改善や学習支援の取り組みを通じた生徒の基礎学力の定着	・授業の内容・説明がわかりやすいと答える生徒90%以上。	「あてはまる」と回答した生徒 95%	A	教員がICTを活用し、わかりやすい授業を行っていることはもちろんだが、生徒自らiPadを駆使し理解を深めている場面が数多く見られ、学習への意欲が高いことがこの回答に繋がっていると思われる。引き続きICTの効果的な活用方法を研究し続ける必要がある。
		・授業を通して新しい知識が身に付いたと答える生徒90%以上。	「あてはまる」と回答した生徒 99%	A	全教員がICTを授業で効果的に活用できるよう教材研究を行ったり、生徒の理解度に合わせて授業内容を調整したりするなどの努力がこの回答につながっていると思われる。現状に満足せず、生徒が新しい知識を効果的に定着させる方法を模索する必要がある。
		・授業に積極的に取り組んでいると答える生徒90%以上。	「あてはまる」と回答した生徒 91%	A	昨年度に比べ、10%弱増加した。解決したい課題をわかりやすく明示したり、できるだけ生徒にとって身近な題材を使うよう心掛けたりと教員の工夫がこの回答に繋がっていると考える。授業を欠席する生徒が一定数おり、そのような生徒たちの興味関心を引くような授業を研究し続けていく必要がある。
イ	効果的・系統的な進路指導体制の構築による生徒の社会参画につながる進路意識の高揚	・卒業時に進路が決定している生徒95%以上。	84.2% (16人/19人)	B	卒業予定者19名中進学3名、就職内定11名、進学準備2名、就職試験受験予定者2名、進路未決定者1名の状況である。外国にルーツを持つ生徒が友人や家族から紹介された仕事に就こうとする傾向があり、見学はしても受験までは至らないケースが多かった。

様式第3号

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		<ul style="list-style-type: none"> 卒業年次の夏までに体験入学や職場見学に参加した生徒 90%以上。 	生徒 94.7% (18人/19人)	A	正社員として働いている生徒、派遣先に正社員雇用される予定の生徒を除く 17 名が夏までに見学を終えた。 浜松商工会議所とのマッチング事業の実施により 4 年生になるまでに企業を見学する生徒も増えてきている。
		<ul style="list-style-type: none"> 検定合格者数及び資格取得者数延べ 50 人以上。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語ワープロ 21 人 情報処理 5 人 日商簿記 1 人 文書デザイン 3 人 日本語能力 20 人 	A	商業の授業で積極的に各種検定の受験を進めてくれていることもあり、一定数の合格者を出すことができた。 日本語能力試験は、外国人生徒支援員の積極的な働きかけにより 30 名程度の生徒が受験し、20 名の生徒が合格することができた。
ウ	丁寧な指導と支援体制の充実による生徒の基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 校内に自分の悩みや不安を話す人や機会・場所があると答える生徒 90%以上。 	「あてはまる」と回答した生徒 82.7 %	B	毎日の職員打合せで生徒情報を共有することにより、生徒理解につなげ、全職員で個別に生徒支援を行うことができた。同時に、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーとも連携をとりながら、生徒の変化を見逃さないようワンチームで対応できた。引き続き、生徒の様子を見逃さないよう情報共有を密に行い、対応していきたい。
		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の交通事故及び問題行動が年内 10 件以内。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故 2 件 問題行動 9 件 	B	交通安全については、掲示板を使って生徒に情報を提供したり、集会時に注意を促したりした。問題行動については、自分の感情や行動をコントロールできないことから問題行動に繋がった事例が多かったため、全体指導の中で自分のとる行動に責任を持つことなども呼びかけをしていく必要がある。
		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の出席率 90%以上、遅刻率 10%以下、早退率 1 %以下。 	出席率 91.6% 遅刻率 8.1% 早退率 0.6%	A	様々な理由で長期欠席になっている生徒が出席率を下げている部分があるが、引き続き授業を大切に、学校を簡単に休まないように働きかけていく必要がある。

様式第3号

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
エ	生徒の新たな体験や学校生活の充実につながる質の高い学校行事や特別活動等の展開	・学校行事が充実していると答える生徒・保護者 90%以上。	「あてはまる」と回答した生徒 93%、保護者 94.6%。	A	入念な計画・準備等をした上で各行事を行えた。次年度以降、行事がマンネリ化しないよう改善を加えながら進めていく必要がある。
		・外部講師等による研修会等の開催 10 回以上。	進路講話、租税教室、いじめ防止教室、食育講座、消費者教育講座、性教育講座、薬学講座、技能マイスター講座、グッドマナー教室、主権者教育講座、同窓会講話、人権講座、フィリピンの高校生との交流、福祉講座、やさしい日本語講座、金融教室、健康教育講座 17 回実施	A	様々な事業を活用し、外部の専門家の方にお話をさせていただくことにより、生徒自身の将来や進路について考える機会を数多く設定することができた。性教育講座では事前の打合せを養護教諭と綿密に行い、生徒に合った内容を講師に依頼することができた。次年度以降も積極的に様々な事業を活用していく。
		・自分には良いところがあると答える生徒 85%以上。	「あてはまる」と回答した生徒 85%。	A	定時制職員全員が生徒と積極的にコミュニケーションをとり、生徒の自己肯定感が高まるような声掛けを行っているのがこの回答の結果に繋がっていると思われる。引き続き生徒が自己肯定感・自己有用感を高められるような声掛けを行っていく必要がある。
		・部活動の大会や発表会等の対外行事に参加する生徒延べ 30 人以上。	男子バスケットボール部 14 名 女子バレーボール部 11 名 陸上競技部 2 名 バドミントン部 10 名 コバクス甲子園静岡大会 4 名 生徒生活体験発表全国大会 1 名 (合計 42 名)	A	多くの生徒が部活動に参加している。今年度から部活動顧問教員を 4 名に増やしたこともあり、多くの大会に参加することができた。また、各種発表会にも生徒が参加できるよう教員がサポートすることができた。
オ	広報の充実等による本校及び定時制の教育活動の周知。	・「学校案内」の刷新。	全日制・定時制合わせた学校案内の更新	A	昨年度、全日制・定時制を合わせた学校案内を作成したが、今年度は定時制部分について、バレーボール部とバドミントン部、日本語教室の紹介を追加し、進路の内容も更新した。
		・ホームページの週 2 回以上の更新。	学期中は、ほぼ毎週 2 回ホームページを	A	毎週担当者を決め、生徒の授業の様子や部活動の結果報

様式第3号

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
			更新できた。		告などを更新することができ、浜名高校定時制の様子を効果的に伝えることができた。さらに定時制の様子を効果的に外部に伝えるためには、その週に行事を実際に企画・運営した教員がHPを更新したり、SNSの活用も必要である。
		・「学校説明会等で浜名高校のことが分かったと答える来校者」95%以上。	「あてはまる」と回答した来校者 100%。	A	今年度は、学校説明会に90人（生徒49人、保護者41人）が参加した。昨年度同様浜名高校定時制への高い関心を持つ生徒が多いことがわかった。学校説明会をさらにわかりやすくするために、定時制の生徒に学校説明の一部を担当させることも検討中である。
		・学校の教育活動の様子がわかると答える保護者90%以上。	「あてはまる」と回答した保護者 90.2%。	A	学期中には毎週、担当者を決め、ホームページの更新ができたことや絆ネットを使い、「ともしび通信」（定時制新聞）を定期的に配信できたこともこの結果につながっていると思われる。課題は、いかに効果的に学校の様子を伝えることができるかであり、動画も使えるとより良いと考える。
カ	生徒・教職員が安全・安心に教育活動を展開するための教育環境の整備	・学校内外の整備・美化は行き届いていると答える生徒・保護者90%以上。	「あてはまる」と回答した生徒91%、保護者95.7%。	A	今年度から各学期末に生徒が各自の靴箱やロッカーの清掃を行う時間を設定するとともに、厚生委員によるトイレ清掃（大掃除）を実施し始めた。このことにより、生徒たちはさらに校舎をきれいに使おうとする意識が出てきたと考えられる。
		・いじめに遭ったり見たりしたことがあると答える生徒0%。	「あてはまる」と回答した生徒2%。	B	0%とはならなかったが、あてはまると答えた生徒には様々な教員が話を聴きながら、状況が改善するよう対応し続けている。
		・浜名高校に入学して良かったと答える生徒、及び入学させて良かったと答える保護	「あてはまる」と回答した生徒95%、保護者96.8%。	A	日頃から職員全体で生徒情報を共有し、ワンチームで生徒に対応している点や日本語教室を通して日本語が理解で

様式第3号

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		者 90%以上。			<p>きる生徒が増えている点もこの結果に繋がっていると思われる。否定的な理由を推測しながら改善を図っていく必要がある。</p>
		<p>・地震や暴風警報発令時等の登校基準や行動を把握していると答える生徒 80%以上。</p>	<p>「あてはまる」と回答した生徒 87 %。</p>	A	<p>年2回の防災訓練（地震・火災）を通して、災害時に生徒自身がどのように行動すべきか考えるよう声掛けを行った。 暴風警報発令時の登校基準については、必要に応じてSHRなどで担任が説明を行った。</p>
		<p>・各分掌(事務部含む)及び各学年による業務改善・縮減1件以上。</p>	<p>全分掌が1件以上 全学年が1件以上</p>	A	<p>例えば行事等で、教員が全て企画・運営するのではなく、生徒に任せる部分は任せるなど、教員の業務量を減らしながらも生徒が主体的に行動する力を身に着けることができるよう業務改善に取り組むことができた。 次年度以降も各分掌・各学年で業務改善を続けていく必要がある。</p>